

講習No.
S29
選択

【選択】学校教育での芸術療法 (コラージュ療法)の利用

講習の開催地

宇治キャンパス

講習の期間

平成28年12月10日(土)

受講料

6,000円

対象職種

教諭、養護教諭

定員	時間数	試験方法	担当講師	森谷 寛之(臨床心理学部臨床心理学科教授)
50人	6時間	筆記試験		

主な受講対象者 幼稚園・小学校・中学校・高等学校教諭、養護教諭

講習の概要

コラージュとは、雑誌やパンフレットなどの既成の絵や写真をはさみで切って、台紙の上で構成し、糊で貼り付けるシンプルな方法である。これを講師は1987年に箱庭療法を参考にコラージュ療法として提案した。以後、教育・医療・福祉・矯正分野で広く用いられている。本講習ではコラージュ制作実習を通じて方法を学び、教員自身が自分でその効果を確かめる。また、この体験をもとにして、生徒の作品をよりよく理解できるようにする。生徒とのコミュニケーションとして芸術療法が利用できることを学んでいく。

1限 9:00~10:20(80分)	2限 10:30~11:50(80分)	3限 12:50~14:10(80分)	4限 14:20~15:40(80分)	5限 15:50~16:30(40分)
コラージュ療法とは コラージュ療法を発想したいきざつとその基本的な考え方を示す。美術教育との違いなども説明する。	コラージュ制作実習 実際に自分でコラージュ制作をする。	作品のふりかえり 作品を通じて自分の気持ちを表現してみよう。生徒理解の方法を説明する。	作品の理解の仕方 子ども達の作品を通じて、生徒理解を深めよう。精神発達と作品の変化を理解する。	修了認定試験 どれぐらい理解できたかを振り返る。

備考

制作体験をします。日頃なじみで、切り抜いても差し支えない雑誌などを2、3冊と糊・はさみをご持参ください。